

2025

月刊「ニューメディア」

NEW MEDIA

<https://www.newww-media.co.jp>

1983～2025

42周年

メディアのビッグバンを伝えて42年
それは新技術・新サービスの軌跡

株式会社 ニューメディア

NEW MEDIA

『月刊ニューメディア』の2025年の目標と方針

『月刊ニューメディア』のパーパス

『月刊ニューメディア』は放送・通信事業者※に「最強のイノベーション」を提案します。

※放送・通信事業者：放送局、ケーブルテレビ事業者、通信事業者、コンテンツ制作会社など。



パーパスの実践＝3つの読者層に向けた「最強のイノベーション」提案

『月刊ニューメディア』は放送・通信事業者の読者が「最強のイノベーション」提案を、**1** 経営に生かす、**2** システム構築に生かす、**3** 最新技術を知る、という3つに活用していただける特集・記事を掲載します。

1 経営陣向け記事⇒経営に生かす

放送・通信事業者の経営陣向け記事では、強力な技術戦略を提案します。

2 技術担当者向け記事⇒システム構築に生かす

技術部門担当者向け記事では、最新の技術、システム、ソリューションを提案します。

3 技術担当者以外に向けた記事⇒最新技術を知る

営業・制作・編成など技術部門以外の担当者向け記事では、最新技術を分かりやすく解説します。



『月刊ニューメディア』の強みが「最強のイノベーション」提案を可能にする

『月刊ニューメディア』の「最強のイノベーション」提案は、弊誌の**“3つの強み”**によって作り上げたもので、他の媒体やWeb上にはない、『月刊ニューメディア』ならではの情報です。

1 「最強のイノベーション」提案は、弊誌が業界・メーカー・行政などの関係者との議論を通して共に作り上げた、放送・通信事業者にとって最適なシステム、ソリューションの提案です。

2 「最強のイノベーション」提案は、放送・通信事業者のニーズ、最新技術のシーズ、今後の技術・市場・社会の動向に対応させています。

3 「最強のイノベーション」提案の策定においては、弊誌が創刊42年間に築いた放送・通信業界やメーカー・行政などの関係者との信頼関係が生かされています。

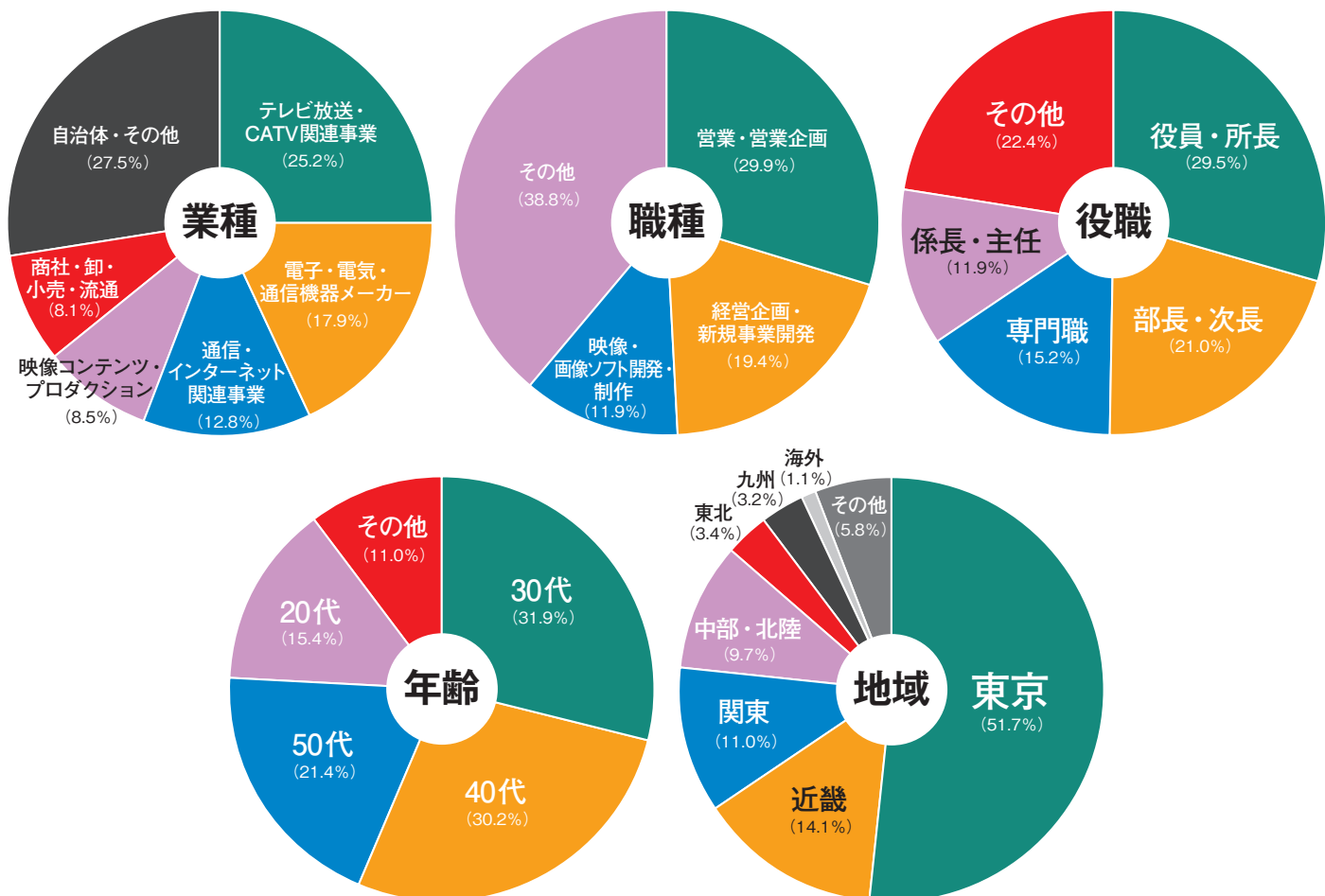
NEW MEDIA

■ 月刊「ニューメディア」発行概要

発行日	月刊発行（毎月1日発売）
創刊	1983年
発行部数	55,000部（定期購読者を中心に大手主要書店、Amazon、富士山マガジンサービスなどネット書店にて販売）
体裁	A4判 正寸
価格	1,150円（税込） 年間12冊定期購読料：13,800円（税込、送料弊社負担）
編集長	天野 昭
取次	トーハン、日本出版販売、楽天ブックネットワークス
都内取扱店	紀伊國屋書店 新宿本店、三省堂書店 神保町本店、丸善 丸の内本店、丸善 日本橋店、三省堂書店 池袋本店、ジュンク堂書店 池袋本店、書泉ブックタワー（秋葉原）

■ 読者基礎データ

情報感度の鋭い読者の多くは攻めの部署に在籍しています。
つまり、弊誌は時代を牽引するキーパーソンのアイデア・ソースになっているのです。



NEW MEDIA

■ 会社案内

会社名 株式会社ニューメディア
所在地 〒104-0061 東京都中央区銀座1-16-7 銀座大栄ビル6F TEL:03-4360-8644 (代)
創 立 1985年7月
資本金 2,000万円
代表発行人 天野 昭

- 事業内容
- 1 新技術、新事業の専門ビジネス誌として、他メディアと一線を画す徹底した調査、取材を行い、オピニオン形成と市場の発掘・発展促進を目指すメディア情報誌の発行
 - 2 専門書含む単行本の発行
 - 3 メディア業界の最先端テーマによる企画セミナーの開催および視察ツアーの実施

Webサイト <https://www.newwww-media.co.jp>

主要刊行物 月刊「ニューメディア」^①
NM新書 創業記シリーズ^②
NM BOOKS^③

『The FileBase Book』『The FileBase Book2』^④

『われら知財派』^⑤

『NHK会長 海老沢勝二が語る デジタル公共放送論』^⑥ ほか

取 次 トーハン、日本出版販売、楽天ブックネットワークス



■ 主な広告クライアント (順不同)

パナソニック／華為技術日本／日本電気／イスラエル大使館／花王／日清製粉／西華産業／ミハル通信／ビデオ・テック／
グラスバレー／ NECビューテクノロジー／ NECソフトウェア／ NECインターチャネル／日本マクドナルド／IMAGICA／
キヤノン／アスク／メディアグローバルリンクス／ヤマトシステム開発／さくら映機／ジャパン ケーブルキャスト／シンクレイヤ／
ディズニー・チャンネル／ジェイスports／アストロデザイン／松浦機械製作所／日本ヒューレット・パカード／アサカ／
中日電子／アニマックスブロードキャスト・ジャパン／日本通信機／ヒロテック／ヨーズマー／NHKアイテック／マスプロ電工／
スター・チャンネル／FOX インターナショナル・チャンネルズ／日本BS放送／ワールド・ハイビジョン・チャンネル／DX アンテナ／
ケーブル・ジョイ／伊藤忠ケーブルシステム／朋栄／サーティファイ／キッズステーション／釣りビジョン／メディアキャスト／
エル・エス・アイ ジャパン／日本CATV技術協会／ジャパン・エンターテイメント・ネットワーク／イトーキ／報映産業／
アビッド テクノロジー／アリス・グループ・ジャパン／デジタルプラネット衛星放送／日本ケーブルテレビジョン／マイクロソフト／
電子情報技術産業協会／スカイビジョン／囲碁将棋チャンネル／日本ケーブルテレビ連盟／関電工／ブロードネットマックス／
古河電気工業／富士通ネットワークソリューションズ／放送大学学園／メディアネットワークソリューションズ／ファミリー劇場／
ジャパンイメージコミュニケーションズ／富士通／日活／NTT／NTTコムウェア／NTTソフトウェア／NTTドコモ／電通／
NTT-ME／NTTファシリティーズ／東芝／ソニー／日立製作所／日立エンジニアリング／日立国際電気／三菱電機／
クアルコム／フジクラ／日本アイ・ビー・エム／NHKテクノロジー／日本アルカテル・ルーセント／インターテック／
データブロード／ナノオプト・メディア／KDDI／アルフレッドコア／加賀電子／ARA Networks／ラムダシステムズ 他

Xデー勉強会の開催

*コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、一部オンライン開催

●専門誌編集部らしい厳選テーマで“勉強”

編集部が取材した「勉強したい」テーマで独自企画

●新技術、新製品、新動向などを共同で企画する“勉強”

企業各社と連携した企画セミナーも立案。もちろん本誌編集部らしい「参加者募集」をサポート

●ツアー企画と連動した事前・事後の勉強会を開催



本誌企画による海外ツアー

主な海外メディアビジネスツアー

1月：CES全米放送業大会（アメリカ／ラスベガス）

2月：MWC（スペイン／バルセロナ、マドリード）

3月：SXSW（アメリカ／テキサス）

4月：NAB全米放送業大会（アメリカ／ラスベガス）

6月：ブロードキャスト・アジア（シンガポール）

9月：IFA国際コンシューマ・エレクトロニクス展（ドイツ／ベルリン）

IBC国際放送機器展（オランダ／アムステルダム）

不定期：韓国の地上波・ケーブルテレビ・IPTVの今を知る

Dolby Laboratories本社で
研究開発用のドルビーシア
ターを見学（2018年1月）



NEXT30

今後の日本社会を展望する 月刊「ニューメディア」独自の研究活動

日本社会が抱える課題をメディア産業からフォーカス。テーマに即した外部のオピニオンリーダーを講師に、オープンな場として研究セミナーを開催。NEXT30はアドバイザー、スポンサーメンバーの参画によって活動しています。

※活動は2016年で終了しました。

NEXT30アドバイザー



増田寛也氏

野村総合研究所顧問
日本創成会議座長



廣瀬通孝氏

東京大学大学院教授



杉本誠司氏

ニワンゴ代表取締役社長

「これまでの研究セミナー」

*役職等は講演当時のものです。

- 第1回 「TPPにおける知財戦略と日本のメディア産業力強化」
- 第2回 「次世代携帯電話の情報革命技術とサービス」
- 第3回 「人口減少・極点社会が激変させるメディア市場と対応戦略を考える」
- 第4回 「福島第一原発の廃炉への道程とロボット技術について」
- 第5回 「ネットワーク空間の社会と今後の展望」
- 第6回 「消費税軽減税率の適用範囲」
- 第7回 「条件不利地域への放送・通信インフラ整備」
- 第8回 「QVCスクエア視察と佐々木迅QVCジャパン社長のプレゼン」
- 第9回 「仕事がない過疎地だから、仕事を持つ人を呼ぼう」
- 第10回 「確固たる『ジャパン・ブランド』を打ち立てる国際戦略づくり」
- 第11回 「災害大国日本における国土経営の再考」
- 第12回 「成熟社会の『少子高齢』の宿命に立ち向かう」
- 第13回 「広告表現の未来 ～メディア急進化時代の広告表現～」
- 第14回 「世界最大の気象情報会社ウェザーニューズの心臓部を見学する」
- 第15回 「日本発『8K医療応用』をリードする技術開発の課題」

スポンサーメンバーには、(株)NHKエンタープライズ、(株)NHKメディアテクノロジー、NTTぶらら、(株)アイセック・ジャパン、ジャパンケーブルキャスト(株)、(株)電通 電通総研、(株)ビデオ・テック、(株)丸八ホールディングス、(株)オクトシステムサービスらが参画（2015年4月現在）。

NEW MEDIA

■ 広告料金 * 広告会社様へ ネット料金です。

掲載面	色	スペース	広告料* (税別)	雑誌掲載サイズ (天地×左右)
表4	4C	1P	¥700,000	274 × 196 mm
表2	4C	1P	¥600,000	297 × 210 mm
表3	4C	1P	¥500,000	297 × 210 mm
記事中	4C	1P	¥500,000	297 × 210 mm
記事中	4C	横1/2P	¥160,000	149 × 210 mm
記事中	4C	横1/3P	¥80,000	99 × 210 mm
記事中	4C	横1/4P	¥60,000	75 × 210 mm
目次ページ	4C	横1/4P	¥90,000	75 × 210 mm

※ 記事タイアップの場合：広告料金＋制作実費30万円／1頁

■ 塗り足しを含めた広告の「作成（データ）サイズ」や、伝達要素（ロゴや文字、QRコードなど）を置く範囲について、別途ご案内いたします。

■ 広告入稿のご案内

「**広告のデータ**」「**出力見本**（PDFなど）」「**データ入稿表**」の3点をご送付ください。

「**広告のデータ**」

- 「Illustrator」（Adobe Illustrator=Ai）で作成してください。
- CMYKで作成してください。
- 文字はすべてアウトライン化してください。
- 配置した画像もお送りください。「埋め込み」にすることも可能です。
配置した画像もCMYKであること、350dpi以上であることをご確認ください。
- ほかのアプリケーション（OfficeのWordなど）で作成の場合は、PDFファイルにしてご入稿ください。
- データのウイルスチェックをお願いいたします。
- ファイル転送サービス、USBなどでお送りください。

「**出力見本**（PDFなど）」

「**データ入稿表**」

- 入稿日、広告名称、データ制作社名・担当者名・連絡先をご記入ください。

* 色校正はPDFによる確認となります。